

令和6年（2024年）2月2日

柏崎市長 櫻井 雅浩 様

柏崎市議会議長 柄沢 均

令和6年能登半島地震対応に関する意見・要望について

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震においては、貴職始め職員の皆様の御尽力に感謝を申し上げます。

多岐にわたり迅速に対応をいただいているところですが、議員に対しても市民から様々な御意見、御要望が寄せられております。

つきましては、市民からいただいた声を下記のとおり取りまとめましたので、既に取り掛かっているものもあるかと思いますが、特に御配慮いただきますよう、要望いたします。

記

- 1 今回、地震と津波という複合災害に直面して、市内で活動している自主防災組織の重要性が改めて浮き彫りになったことから、各地域の自主防災組織の強化に向けた取組を進めること。
- 2 防災ガイドブック（自然災害編）において津波避難の基本として記されている「車による避難の原則禁止」が必ずしも遵守されず、結果として一部道路で渋滞が発生した。その検証と対策を行うこと。
- 3 地震と津波では避難所や避難場所が同一地域内でも異なることもあるが、今回は一部地域で混乱も見られた。防災ガイドブックには記されているが、改めて各地域における避難所、避難場所の市民への周知・啓発を行うこと。
- 4 市が発行している防災ガイドブックには地震や津波に際しての対応も記されているが、そもそも、防災ガイドブックの存在を知らない市民も多くいた。防災ガイドブックについて、広報かしわざき等を通じて改めて市民への周知・啓発を図ること。
- 5 屋外の津波避難場所に避難した市民について、特に今回のような冬期においては長時間、屋外にとどめておくことはできない。どのタイミングで屋内の避難所へ移動させるべきか、検証を行うこと。

- 6 避難所や避難場所の表示看板について、道路から離れた場所にあっても分かりやすく、夜間や積雪時でも判別できるよう、必要に応じて見直すこと。また、表示看板の劣化や損傷も見られることから、点検や修繕を行うこと。
- 7 避難所での避難者の把握、受付の迅速化等に向けたマイナンバーカードの活用等、災害時における DX 化の取組を進めること。
- 8 地域によっては、停電により家庭で暖房器具が使えなくなり、暖をとるために避難所に身を寄せる住民もいたが、避難所も停電等で暖房器具が使えない状況になった。このような事態を招かないような対策を行うこと。
- 9 これまで複合災害として想定していた地震・大雪に加え、即時避難の必要に迫られる津波にも対応した避難計画が求められることが明らかとなった。また、避難道路として重要とされる国道 8 号が上越市内で大規模土砂崩れにより通行止めとなった。今回の事案を踏まえた避難計画の検証を行うこと。
- 10 今回の地震により、柏崎刈羽原子力発電所内の燃料プールから冷却水があふれるという事案が発生し、そのことを懸念する市民の声も聞かれた。正確かつ迅速で分かりやすい情報発信について、東京電力ホールディングス(株)に対して、改めて市から要請すること。

以 上